

第8回通常総会資料

令和2年5月

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

第 1 号 議 案

令和元年度事業報告書

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

令和元年度の当協会の事業等について報告いたします。

1 会員の状況

正会員 13社 (前年度末比+1社) Hilton Grand Vacations Japan 合同会社
賛助会員 28社 (前年度末比+2社) (株)マザーブレイン、(株)悠久

2 理事会・総会の開催

- 1 令和元年 5 月 16 日 (木) 東京都渋谷区のリゾートトラスト東京ビル 7 階中会議室にて、本年度第 1 回理事会並びに第 7 回通常総会を開催。

理事会議題 1 平成 30 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

- 2 令和元年度事業計画並びに収支予算案審議承認の件

総会議題 1 平成 30 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

2 令和元年度事業計画並びに収支予算案審議承認の件

3 新会員入会追認の件 (株)日本ハウス・ホテル&リゾート倶楽部)

総会終了後、7 階大会議室にて、総会懇親パーティーを開催。経済産業省より商務・サービスグループ クールジャパン政策課・観光・集客産業戦略調整官古屋隆志様他 2 名を含み、正会員等関係者約 30 名のご出席をいただきました。

2 臨時理事会の開催。

(1)令和元年 8 月 9 日に株式会社マザーブレインより賛助会員への入会申し込みがあり、その入会の可否につき書面での同意を求めました。全員が同意したことより、決議が成立したので、入会を承認し、同意書を 8 月 20 日付で発送しました。(令和元年 9 月 1 日より入会)

(2)令和元年 10 月 25 日に株式会社悠久より賛助会員への入会申し込みがあり、その入会の可否につき書面での同意を求めました。全員が同意したことより、決議が成立したので、入会を承認し、同意書を 11 月 5 日付で発送しました。(令和元年 12 月 1 日より入会)

(3)令和元年 12 月 19 日に Hilton Grand Vacations Japan 合同会社より正会員への入会申し込みがあり、その入会の可否につき書面での同意を求めました。全員が同意した

ことより、決議が成立したので、入会を承認し、同意書を12月24日付で発送しました。(令和2年1月1日より入会)

- 3 令和2年2月12日(水)東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、本年度第2回理事会を開催。

- 理事会議題 (1) 令和元年12月までの事業報告並びに収支状況の報告の件
(2) 新年度役員改選のため、役員人事方針協議の件
(3) 新年度事業計画大綱検討の件

理事会終了後、令和2年新年賀詞交歓会を開催しました。経済産業省クールジャパン政策課三牧純一郎課長他2名をご来賓に、理事・監事、正会員、賛助会員、関係者約100名のご出席をいただきました。

3 協会の各種事業について

(1) 調査研究事業

1 国内リゾートの歴史・風土・文化財及びそのエピソード等についての調査

前年度は、常務理事が2018年11月に奄美大島で2つのホテルを視察しました。そしてその紀行文をホームページに掲載しました。今年度は、常務理事が8月に宮城県石巻市・女川町・東松島市と女川駅近くの変ったホテルを視察したので、その調査報告を後日ホームページに掲載する予定です。

2 タイムシェア研究会の開催

引き続き「リゾート会員権の流通・再利用の現況と展望」に関する研究・討議を進めるために、リゾート会員権の仲介業者からヒントを得るべくヒアリングをお願いしました。現状、大谷先生に分析をお願いし、準備を進めておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、開催できませんでした。

4 その他

環境省より「国立公園の宿泊事業のあり方について」の概要が出され、それについてのパブリックコメントの募集があったため、そのコメントを協会として大谷先生に作成いただき提出しました。ただ、それについての当局からの反応はありませんでした。

(2) 研修会・セミナー事業

1 スタッフキャリアアップ研修講演会

今年度は、昨年度に引き続き開催することができませんでした。

2 支配人・管理者研修会

今回もアクティブプラス(株)社長の石月先生にお願いし、『現場力を高める～「真の働き方改革」で組織のパフォーマンスを最大化!』というテーマで3月5日～6日エクシブ琵琶湖にて開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から無期延期としました。

従って、今年度は研修会・セミナー事業は、開催なしということになりました。

(3) 情報の収集と提供事業

1 ホームページによる情報提供について

イ ホームページの更新

ホームページのアクセス数を上げるため、協会内のできごと、共催イベントのご案内、研究会の報告や常務理事の訪問先の調査・研究紀行文等ホームページ情報を大谷理事中心に随時更新しております。さらに7年前から「クラブライフのご提案」として、協会加盟会社のホテル訪問の調査研究資料を大谷理事に執筆をお願いし掲載しております。又、消費者相談室から、悪質な業者情報について、随時お知らせすることとしています。

ロ 協会ホームページへのアクセス数

4月	6,824	8月	6,006	12月	3,697
5月	6,964	9月	4,537	1月	3,592
6月	5,846	10月	3,694	2月	3,663
7月	6,030	11月	3,680	3月	4,229

新ホームページをアップロードしてから約8年経過しましたが、統計対象サイト上では前年同期比で約8500件減少の5万8700回でした。ホームページ上のアクセス数では、約18万9千回(前年度比+6万7千)となりました。

2 クラブとの共催イベントの実施

今年度も紀州鉄道の協力を得て、実施を計画しました。ただ、11月に予定していた1泊2日の伊豆のイベントが催行人数に達せず中止となりました。

* 1月10日(金)

「新春 上野美術館めぐり」と題する紀鉄クラブとの共催イベントを開催予定。西洋美術館で開催中の「パプスブルク展」と上野の森美術館で開催中の「ゴッホ展」をハヤシライスで有名な「黒船亭」のランチをはさんでめぐるイベントでした。特に、「ゴッホ展」は30分以上並んでの入場でしたが、さすがにその中でも「糸杉」には魅せられました。参加者は10名でした。(会員以外は4名)

(4) リゾネット事業

本年度のリゾネット参加施設は 13 社、国内 31 施設（前年度比±0）でスタート。前期末にパンフレット 20,000 部（前年度比-1,800 部）を配布済。

本年度のリゾネット利用者数（受入ベース）

4月	212	8月	721	12月	149
5月	203	9月	212	1月	163
6月	167	10月	216	2月	144
7月	346	11月	222	3月	64

本年度の利用者数合計 2,819 名（前年同期比 -1.5%）

前年同期利用者数合計 2,862 名

利用実績は昨年度を若干下回っていますが、特に 9 月の台風 15 号、10 月の台風 19 号襲来でのキャンセルによるものと、2 月以降は新型コロナウイルスの影響と思われます。

現状で送客の多いクラブは、セラヴィリゾート泉郷が大きく他を引き離してトップ、次いで鳴川リゾートクラブ、サンダンスリゾートクラブ、エピナールリゾートクラブ。受入の多い施設は、断トツでヴィラ北軽井沢エルウィング、次いで伊東パウエル、ホテルエピナール那須、リゾートピア熱海の順になっております。

(5) 消費者相談事業

取扱件数、内容は別紙のとおりで、若干少なくなりました。

今年度の特徴としては、少なくともはなったものの「終活」ブームに乗って、相変わらず会員権の処分についての相談が寄せられています。そしてこの悩みを抱えている共有制会員権オーナーに対してアプローチをし、法外な請求をしたりする業者の勧誘が少なくともはなったもののまた会社の名前を変えて続いており、注意が必要です。

また、注意喚起をするために、5 月 10 日、リゾートトラスト社からのお知らせ「不審な会員権仲介業者にご注意ください」をホームページに掲載しました。

4 その他の事項

4 月 18 日（木）、4 月 24 日（水）平成 30 年度の会計監査（佐藤監事・朽本監事）を実施。

6 月 13 日（木）労働力不足対策委員会開催。人手不足問題に悩む会社が多い中、

外国人や高齢者の雇用促進でその問題を解決すべく、鈴木副会長の発案で小西理事を交えて開催し、各社にアンケート調査をしましたが、各社からの反応が少なく残念ながら尻すぼみ状態になっています。

6月17日（月）内閣府公益認定等委員会へ「平成30年度の事業報告、収支決算報告、令和元年度の事業計画、収支予算」をネットにて提出。

10月24日（木）本年度上期の会計監査（佐藤監事）を実施。

11月15日（金）㈱ニッセイ基礎研究所、日本住宅総合センター、国交省マンション対策課より、「マンションの保有・利用に係る新たな権利形態の可能性に関する実態調査」に関するヒアリングを受けました。

以上

令和元年度消費者相談室取扱状況

(一社)日本リゾートクラブ協会

消費者相談室

1. 取扱件数	平成30年度	令和元年度	前年比増減
相談・問い合わせ	76	66	-10
苦情	0	0	0
合計	76	66	-10

2. 相談問い合わせの内訳	平成30年度	令和元年度	前年比増減
協会の案内・資料請求など	15	21	6
会員権の売却検討	7	10	3
会員権の購入検討	3	7	4
加盟会社の問い合わせ	17	8	-9
非加盟会社の問い合わせ	23	10	-13
事業化相談・業界調査	6	7	1
その他	5	3	-2
合計	76	66	-10

3. 苦情の内訳	平成30年度	令和元年度	前年比増減
個人	0	0	0
法人	0	0	0
預託制	0	0	0
共有制	0	0	0
その他システム	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0
勧誘	0	0	0
契約	0	0	0
解約・預託金返還	0	0	0
利用・料金	0	0	0
その他	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0

消費者センターからの相談・問合せ 8件

メディカル&リゾートソリューション関係 4件

その他、リゾートバンクやLCライフコネクション(グッデイライフ)等についても問合せあり。

第 7 期 決 算 報 告 書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

東京都渋谷区代々木 4 丁目 36 番 19 号
リゾートトラスト東京ビル 3 階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 興 朗

令和元年度収支計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異
収入の部	1.入会金収入	150,000	200,000	△ 50,000
	正会員入会金	100,000	100,000	0
	賛助会員入会金	50,000	100,000	△ 50,000
	2.会費収入	7,350,000	7,461,666	△ 111,666
	正会員会費	4,700,000	4,770,000	△ 70,000
	賛助会員会費	2,650,000	2,691,666	△ 41,666
	3.事業収入	3,140,000	899,700	2,240,300
	調査・研究事業	0	0	0
	研修会・セミナー事業	500,000	0	500,000
	情報収集・提供事業	1,800,000	58,500	1,741,500
	倫理審査事業	0	0	0
	相互利用事業	840,000	841,200	△ 1,200
	消費者相談事業	0	0	0
	4.その他収入	1,000	1,281	△ 281
	受取利息	1,000	1,281	△ 281
	雑収入	0	0	0
5.公益事業推進基金より	2,047,000	2,047,698	△ 698	
	収入合計	12,688,000	10,610,345	2,077,655

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異
支 出 の 部	1.事業費	7,610,000	5,482,794	2,127,206
	調査・研究事業	1,500,000	1,334,754	165,246
	研修会・セミナー事業	1,200,000	518,849	681,151
	情報収集・提供事業	3,000,000	1,659,461	1,340,539
	倫理審査事業	0	0	0
	相互利用事業	1,400,000	1,466,647	△ 66,647
	消費者相談事業	510,000	503,083	6,917
	2.管理費	2,785,000	2,385,212	399,788
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	58,000	57,024	976
	会議費	350,000	322,560	27,440
	旅費交通費	250,000	131,622	118,378
	通信費	35,000	34,700	300
	備品費	40,000	2,084	37,916
	消耗品費	60,000	86,737	△ 26,737
	印刷費	5,000	3,456	1,544
	新聞図書費	5,000	0	5,000
	水道光熱費	12,000	9,818	2,182
	賃借料	320,000	324,654	△ 4,654
	支払手数料	150,000	88,551	61,449
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	22,000	28,000
	諸雑費	300,000	152,006	147,994
	3.予備費	200,000	0	200,000
	4.公益事業推進基金	0	0	0
	支出合計	10,595,000	7,868,006	2,726,994
	当期収支差額	2,093,000	2,742,339	△ 649,339
	前期繰越収支差額	7,833,891	7,833,891	0
	次期繰越収支差額	9,926,891	10,576,230	△ 649,339

貸借対照表

(令和2年3月31日)

単位:円

	勘定科目		当年度	前年度	増減
	大科目	中科目			
資産の部	流動資産	現金	30,509	9,784	20,725
		普通預金	4,988,807	4,929,843	58,964
		定期預金	9,000,000	6,000,000	3,000,000
		未収金	-	17,000	△ 17,000
	流動資産合計		14,019,316	10,956,627	3,062,689
	特定資産	公益事業 推進基金	5,900,771	7,948,469	△ 2,047,698
		特定資産合計	5,900,771	7,948,469	△ 2,047,698
	その他の固定資産	電話加入権	72,800	72,800	0
		その他の固定資産 合計	72,800	72,800	0
	固定資産合計		5,973,571	8,021,269	△ 2,047,698
資産合計		19,992,887	18,977,896	1,014,991	
負債の部	流動負債	預り金	3,443,086	3,083,086	360,000
		未払金	0	39,650	△ 39,650
	流動負債合計		3,443,086	3,122,736	320,350
正味財産の部	正味財産	正味財産	16,549,801	15,855,160	694,641
	正味財産合計		16,549,801	15,855,160	694,641
負債及び正味財産合計		19,992,887	18,977,896	1,014,991	

財 産 目 録

(令和2年3月31日)

単位:円

	勘 定 科 目		金 額	摘 要
	大 科 目	中 科 目		
資 産 の 部	流 動 資 産	現 金	30,509	手許現金
		普 通 預 金	4,988,807	三菱東京UFJ銀行・新宿中央支店
		定 期 預 金	9,000,000	三菱東京UFJ銀行・新宿中央支店
	流 動 資 産 合 計		14,019,316	
	特 定 資 産	公益事業推進基金	5,900,771	定期預金(三菱東京UFJ銀行・新宿中央支店)
	その他の固定資産	電 話 加 入 権	72,800	電話加入権
	固 定 資 産 合 計		5,973,571	
資 産 の 合 計		19,992,887		
負 債 の 部	流 動 負 債	預 り 金	3,443,086	次年度会費他
	流 動 負 債 合 計		3,443,086	
	負 債 の 合 計		3,443,086	
正 味 財 産		16,549,801		

計算書類に対する注記

特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 公益事業推進基金	7,948,469	0	2,047,698	5,900,771
合 計	7,948,469	0	2,047,698	5,900,771

令和元年度正味財産増減計算書（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入金		200,000	100,000	100,000
	正 会 員	100,000	100,000	0
	賛 助 会 員	100,000	0	100,000
受 取 会 費		7,461,666	7,260,000	201,666
	正 会 員	4,770,000	4,560,000	210,000
	賛 助 会 員	2,691,666	2,700,000	△ 8,334
事 業 収 益		899,700	2,022,000	△ 1,122,300
	調 査・研 究	0	0	0
	研 修 会・セ ミ ナ ー	0	408,000	△ 408,000
	情 報 収 集・提 供	58,500	676,000	△ 617,500
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	841,200	938,000	△ 96,800
	消 費 者 相 談	0	0	0
雑 収 益		1,281	1,200	81
	受 取 利 息	1,281	1,200	81
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		8,562,647	9,383,200	△ 820,553
【経常費用】				
事 業 費		5,482,794	7,008,085	△ 1,525,291
	調 査・研 究	1,334,754	1,545,475	△ 210,721
	研 修 会・セ ミ ナ ー	518,849	1,167,120	△ 648,271
	情 報 収 集・提 供	1,659,461	2,295,855	△ 636,394
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	1,466,647	1,497,412	△ 30,765
	消 費 者 相 談	503,083	502,223	860
管 理 費		2,385,212	2,691,445	△ 306,233
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法 定 福 利 費	57,024	57,024	0
	会 議 費	322,560	708,592	△ 386,032
	旅 費 交 通 費	131,622	123,489	8,133
	通 信 費	34,700	34,978	△ 278
	備 品 費	2,084	4,260	△ 2,176
	消 耗 品 費	86,737	29,385	57,352
	印 刷 費	3,456	0	3,456
	新 聞 図 書 費	0	0	0
	水 道 光 熱 費	9,818	9,728	90
	賃 借 料	324,654	361,355	△ 36,701
	支 払 手 数 料	88,551	130,358	△ 41,807
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情 報 交 流 費	22,000	16,800	5,200
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	152,006	65,476	86,530
経常費用計		7,868,006	9,699,530	△ 1,831,524
当期経常増減額		694,641	△ 316,330	1,010,971
当期経常外増減額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		694,641	△ 316,330	1,010,971
一般正味財産期首残高		15,855,160	16,171,490	△ 316,330
一般正味財産期末残高		16,549,801	15,855,160	694,641

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

III 正味財産期末残高	16,549,801	15,855,160	694,641
--------------	------------	------------	---------

令和元年度正味財産計算書（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		200,000	100,000	100,000
	正 会 員	100,000	100,000	0
	賛 助 会 員	100,000	0	100,000
受 取 会 費		7,461,666	7,260,000	201,666
	正 会 員	4,770,000	4,560,000	210,000
	賛 助 会 員	2,691,666	2,700,000	△ 8,334
事 業 収 益		899,700	2,022,000	△ 1,122,300
	調 査・研 究	0	0	0
	研 修 会・セミナ-	0	408,000	△ 408,000
	情 報 収 集・提 供	58,500	676,000	△ 617,500
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	841,200	938,000	△ 96,800
	消 費 者 相 談	0	0	0
雑 収 益		1,281	1,200	81
	受 取 利 息	1,281	1,200	81
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		8,562,647	9,383,200	△ 820,553
				0
【経常費用】				0
事 業 費		5,482,794	7,008,085	△ 1,525,291
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	133,056	133,056	0
	旅費交通費	440,841	732,356	△ 291,515
	通信費	172,229	195,774	△ 23,545
	備品費	136,666	0	136,666
	消耗品費	22,091	19,670	2,421
	会議費	232,851	746,582	△ 513,731
	印刷費	874,160	866,804	7,356
	水道光熱費	22,907	22,699	208
	賃借料	743,854	776,074	△ 32,220
	諸謝費	0	140,100	△ 140,100
	諸雑費	184,139	854,970	△ 670,831
管 理 費		2,385,212	2,691,445	△ 306,233
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	57,024	57,024	0
	会 議 費	322,560	708,592	△ 386,032
	旅費交通費	131,622	123,489	8,133
	通 信 費	34,700	34,978	△ 278
	備 品 費	2,084	4,260	△ 2,176
	消 耗 品 費	86,737	29,385	57,352
	印 刷 費	3,456	0	3,456
	新聞図書費	0	0	0
	水道光熱費	9,818	9,728	90
	賃 借 料	324,654	361,355	△ 36,701
	支払手数料	88,551	130,358	△ 41,807
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	22,000	16,800	5,200
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	152,006	65,476	86,530
予備費		0	0	0
経常費用計		7,868,006	9,699,530	△ 1,831,524
経常増減額		694,641	△ 316,330	1,010,971
経常外増減額		0	0	0
一般正味財産増減額		694,641	△ 316,330	1,010,971
一般正味財産期首残高		15,855,160	16,171,490	△ 316,330
一般正味財産期末残高		16,549,801	15,855,160	694,641

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0

III 正味財産期末残高		16,549,801	15,855,160	694,641
--------------	--	------------	------------	---------

令和2年4月24日

監査報告書

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

監事 佐藤 茂 

監事 朽本 雅尚 

第7期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 佐藤 茂は会計帳簿の分野を中心に、監事 朽本 雅尚は法人業務の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

以上

第 2 号 議 案

新年度役員改選のため、役員人事方針等につき協議の件

令 和 2 年 度 役 員 人 事 (案)

(敬称略)

役名	旧	新	所属・役職	備考
代表理事 (会 長)	伊藤 與朗	同左	リゾートトラスト(株) 代表取締役ファウンダーグループ CEO	重任
〃 (副会長)	鈴木 健史	〃	(株)鳴川グランドホテル 代表取締役社長	〃
理 事 (常務理事)	今泉 陽一	〃	事務局長	〃
〃	大谷 毅	〃	信州大学 名誉教授	〃
〃	中川 源行	〃	紀州鉄道(株) 代表取締役社長	〃
〃	富 道雄	〃	(株)ダイヤモンドソサエティ 取締役副会長	〃
〃	小西 滋	〃	(株)セラヴィリゾート泉郷 代表取締役社長	〃
監 事	佐藤 茂	〃	佐藤公認会計士事務所 公認会計士・税理士	〃
〃	朽本 雅尚	〃	(株)萬代 代表取締役	〃

第 3 号 議 案

総会にて理事の選任が承認された後、理事互選により会長、副会長、常務理事を選定し報告する件。

伊藤與朗を代表理事 (会長)、鈴木健史を代表理事 (副会長)、今泉陽一を常務理事に選定の予定。

第4号議案

令和2年度事業計画書

世界の状況は、現状新型コロナウイルスの感染拡大のニュース一色です。今回のウィルスは、2002年中国広東省で発症したSARS（重症急性呼吸器症候群）、2009年メキシコで発症し、アメリカで蔓延した新型インフルエンザ、2012年サウジアラビアで発症したMERS（中東呼吸器症候群）と比べても、感染力が強く世界中に拡散し、なおまだ拡散し続けております。我が国においても、収まる気配が見えない状況です。

経済面からみると、人も物も全く動かなく停滞したままであるため、どこの国も何も手を打てず、ただ手をこまねいている状況です。その影響もあり、各国の市場も混乱し、株価も急落し、乱高下を繰り返しております。感染拡大が収束しないことには、先が見えない不安な状況が広がっております。

わが国でも、「密集」「密閉」「密接」のいわゆる3密を控えることや、不要不急の外出の自粛が叫ばれております。また、東京オリンピック・パラリンピックも約1年後に延期されたことの経済的損失も予想がつきません。

観光、宿泊等のサービス産業関係は、3密を控えることや、不要不急の外出の自粛が叫ばれていることもあり、大きな打撃を受けております。飛行機、新幹線、観光バス等は、感染の恐れから空席が目立っているようです。株価が大きく下がっていることも、富裕層やアクティブシニアの懐具合を悪化させ、マインドをさらに押し下げる要因になりそうです。インバウンドでは、2019年度は3188万人と順調でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020年2月は、前年比58.3%のマイナスになりました。3月以降もインバウンド客の大幅な減少も余儀なくされそうです。

こうした中で、協会の果たすべき役割は、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が前提になりますが、会員企業の経営安定のための情報の発信をしながら、リゾートクラブ産業の認知度及び信頼度のさらなる向上及び国民の皆様に、安心感、親しみ、気軽さをもっていただけるような業界のイメージアップ戦略の遂行です。そのため、リゾート業界をさらに活性化していく手段として、次のような具体策を計画しました。

1 調査研究事業

(1) リゾートライフ調査研究・情報提供

公益目的支出事業の継続事業として、リゾートライフ調査研究・情報提供事業を実施します。これは、国内リゾート地域の歴史、風土、文化及びその魅力等を調査研究し、リゾートクラブシステムを最大活用したその地域の楽しみ方を、ホームページに分かりやすく掲載・紹介していくことです。昨年度も、前年度に続いて大谷

理事が多忙のため、今泉常務理事が視察に訪れた宮城県石巻市・女川町・東松島市についてのレポートを書き、ホームページに掲載する予定です。今年度はまた大谷理事のご協力のもと、新型コロナウイルスの感染拡大が収束したところで、今まで実施していない会員企業の1～2施設を目標に視察する予定です。

また、「タイムシェア研究会」を一昨年から「リゾート会員権の流通・再利用の現況と展望」のテーマで開催しておりますが、重要且解決しなければならない問題を含んでおり、議論を継続していきたいと思っております。

1 研修会・セミナー事業

(1) ホテルスタッフ・管理部門対象の研修会の開催

昨年度はスタッフのキャリアアップを目的とした研修講演会を実施できませんでしたが、本年度はスタッフ向けの研修会開催を検討します。

(2) 支配人・管理者研修会の開催

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から延期を余儀なくされましたので、収束がはかられたところで支配人及び管理者のマネジメント能力、掌握力、社会性を高めるため、支配人・管理者向けの研修会を開催する予定です。

2 情報の収集と提供事業

(1) 会員制リゾートクラブ事業者の情報収集

現在国内で営業を継続している会員制リゾートクラブ事業者（会員各社も）についての情報を収集し、様々な資料を収集していくことはもちろん、その集めた資料を、ホームページを使って発信します。

(2) ホームページによる情報の提供

当協会のホームページは、加盟クラブを主体としたリゾートクラブの包括的なホームページという特徴があり、情報媒体としての広告価値が高いものと考えております。大谷理事を中心に更新作業を実施しておりますが、訪問数は着実に増加しております。今年度も関係者の意見を集約し、ページ内容を強化するとともに、常に最新性を保つよう随時更新して、魅力ある情報を発信し続けることとします。

(3) 新聞雑誌への広報等

新聞やテレビ・ラジオ等からの取材依頼についても積極的に対応し、会員制リゾートクラブの情報発信を続けていきます。毎年、日本生産性本部の「レジャー白書」への情報提供も続けております。

(4) 共催イベントの開催

より多くの人々にリゾートクラブの有用性を感じていただけるよう、加盟クラブと共同して、文化・趣味・健康・スポーツに関連するオープンなリゾートイベントを開催します。昨年度は紀州鉄道・クラブオーパスワン企画の1件のみ（1件は計画したものの中止）の開催でしたが、新たなリゾートのファンを呼び込むためにも他クラブの企画の紹介もお願いします。

3 消費者相談事業

公益目的支出計画の継続事業として、消費者情報提供事業を実施します。

事業の内容としては、

- ① 会員制リゾートクラブへの入会に関する注意点の照会・相談対応
- ② 会員権の売買や譲渡に関する相談対応
- ③ 個別のリゾート事業者についての照会・相談対応
- ④ リゾート会員権に関する相談の中から、ホームページを通じてトラブル情報の発信

また、会員企業各社や消費者庁の国民生活センターとも情報を共有し、悪質な業者の排除に努めていきます。

5 相互利用事業

リゾネット事業

リゾネットは、協会加盟クラブの差別化策として、会員に大変好評で有意義なものであり、会員との結びつきを強化する事業となっております。現在31施設ですが、今年度から、リゾーピア箱根に代わりリゾーピア久美浜が加わりました。今後リゾネット協議会での提案を踏まえた改善策の実現、ホームページ活用による施設ごとのタイムリーな情報提供により、さらに利用の促進を図る計画です。

6 その他重点事項

(1) 会員組織の拡大策

業界全体からみれば正会員の加盟状況は少ない中で、前年度やっと1社の加盟がありました。新規に参入する企業も少なく、さらなる会員の増強は厳しい状況です。

その中で、未加入の健全な会員制リゾート事業者へのアプローチを続けることはもちろん、会員以外の会社に対して研修会等の行事に門戸を拓けるなどの方策により、正会員、賛助会員の新規入会促進への活動を推進します。

(2) 委員会機能の強化

時代の流れが速く、種々の課題が発生することに備え、合同委員会や各種協議会の機能を強化し、それらにスピーディーに対応できる体制を構築します。

令和2年度（第8期）収支予算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

東京都渋谷区代々木4丁目36番19号

リゾートトラスト東京ビル3階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 與 朗

令和2年度予算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位:円)

(収入の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差異
1.入会金収入		150,000	150,000	0
	正会員	100,000	100,000	0
	賛助会員	50,000	50,000	0
2.会費収入		7,950,000	7,350,000	600,000
	正会員	5,100,000	4,700,000	400,000
	賛助会員	2,850,000	2,650,000	200,000
3.事業収入		2,640,000	3,140,000	△ 500,000
	調査・研究	0	0	0
	研修会・セミナー	500,000	500,000	0
	情報収集・提供	1,300,000	1,800,000	△ 500,000
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	840,000	840,000	0
	消費者相談	0	0	0
4.その他収入		1,838,800	2,048,000	△ 209,200
	受取利息	1,000	1,000	0
	雑収入	0	0	0
	公益事業推進基金から	1,837,800	2,047,000	△ 209,200
収入合計		12,578,800	12,688,000	△ 109,200

(支出の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差額
1.事業費		7,110,000	7,610,000	△ 500,000
	調査・研究	1,500,000	1,500,000	0
	研修会・セミナー	1,200,000	1,200,000	0
	情報収集・提供	2,500,000	3,000,000	△ 500,000
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	1,400,000	1,400,000	0
	消費者相談	510,000	510,000	0
2.管理費		2,767,000	2,785,000	△ 18,000
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	58,000	58,000	0
	会議費	350,000	350,000	0
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通信費	35,000	35,000	0
	備品費	20,000	40,000	△ 20,000
	消耗品費	40,000	60,000	△ 20,000
	印刷費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	12,000	2,000
	賃借料	330,000	320,000	10,000
	支払手数料	160,000	150,000	10,000
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸雑費	300,000	300,000	0
3.予備費		200,000	200,000	0
4.公益事業推進基金		0	0	0
支出合計		10,077,000	10,595,000	△ 518,000
当期収支差額		2,501,800	2,093,000	408,800
前期繰越収支差額		7,833,891	7,833,891	0
次期繰越収支差額		10,335,691	9,926,891	408,800

令和2年度収支予算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		150,000	150,000	0
	正 会 員	100,000	100,000	0
	賛 助 会 員	50,000	50,000	0
受取会費		7,950,000	7,350,000	600,000
	正 会 員	5,100,000	4,700,000	400,000
	賛 助 会 員	2,850,000	2,650,000	200,000
事業収益		2,640,000	3,140,000	△ 500,000
	調 査・研 究	0	0	0
	研 修 会・セ ミ ナ ー	500,000	500,000	0
	情 報 収 集・提 供	1,300,000	1,800,000	△ 500,000
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	840,000	840,000	0
	消 費 者 相 談	0	0	0
雑 収 益		2,021,000	2,048,000	△ 27,000
	受 取 利 息	1,000	1,000	0
	雑 収 入	2,020,000	2,047,000	△ 27,000
経常収益計		12,761,000	12,688,000	73,000
				0
【経常費用】				
事業費		7,110,000	7,610,000	△ 500,000
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	135,000	135,000	0
	旅費交通費	750,000	750,000	0
	通信費	200,000	200,000	0
	備品費	80,000	80,000	0
	消耗品費	24,000	24,000	0
	会議費	750,000	750,000	0
	印刷費	900,000	900,000	0
	水道光熱費	30,000	30,000	0
	賃借料	745,000	745,000	0
	諸謝費	250,000	250,000	0
	諸雑費	726,000	1,226,000	△ 500,000
管 理 費		2,765,000	2,785,000	△ 20,000
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	58,000	58,000	0
	会 議 費	350,000	350,000	0
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通 信 費	35,000	35,000	0
	備 品 費	20,000	40,000	△ 20,000
	消 耗 品 費	40,000	60,000	△ 20,000
	印 刷 費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	12,000	12,000	0
	賃 借 料	330,000	320,000	10,000
	支払手数料	160,000	150,000	10,000
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	300,000	300,000	0
予備費		200,000	200,000	0
経常費用計		10,075,000	10,595,000	△ 520,000
経常増減額		2,686,000	2,093,000	593,000
経常外増減額		△ 2,047,000	△ 2,047,000	0
一般正味財産増減額		639,000	46,000	593,000
一般正味財産期首残高		15,855,160	16,171,490	△ 316,330
一般正味財産期末残高		16,494,160	16,217,490	276,670

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
			0
III 正味財産期末残高	16,494,160	16,217,490	276,670

第5号議案 新会員入会承認（追認）の件

正会員として1社、賛助会員として3社、入会の申込がありましたので、承認願いたい。

- 1 正会員 Hilton Grand Vacations Japan 合同会社（平成2年1月入会）
住所 東京都新宿区西新宿8-17-1住友不動産新宿グランドタワー8階
代表者 代表社員 Jeffrey Bernier
米国 Hilton Resort Marketing Corporation の日本での販売会社。
2018年4月ヒルトン小田原の隣接地にタイムシェア（ザ・ベイフォレスト小田原、10R）を開業。2021年には沖縄・瀬底島に新規タイムシェア（約130R）を開業予定で、会社の認知度の向上を目的として、今回入会申し出となったもの。

- 1 賛助会員 株式会社マザーブレイン（令和元年9月入会）
住所 東京都渋谷区初台1-51-1 初台センタービル619
代表者 代表取締役社長 池田 浩史
国内外の投資業・総合コンサルタント業
ベトナムからの実習生派遣業務を通じて、セラヴィリゾート泉郷・小西社長より紹介され、今後も協会会員各社のお役に立てるとの観点から申し出となったもの。

- 2 賛助会員 株式会社悠久（平成元年12月入会）
住所 大阪市平野区长吉川辺3-9-18
代表者 代表取締役 松原 秀光
不動産の売買・賃貸・仲介業、リゾート会員権の売買・仲介業
当社取締役会員権事業部長の瀬下勝己しが元リゾートソリューションで会員権の業務を行っており、今回リゾートトラスト社の推薦を得て申し出となったもの。

- 3 賛助会員 株式会社リミックスポイント（東証2部上場）（平成2年5月入会予定）
住所 東京都港区六本木3-2-1住友不動産六本木グランドタワー36階
代表者 代表取締役 CEO 小田 玄紀
小売り電気業、仮想通貨交換業、宿泊施設の企画・設計
会員企業に対し格安電気料金の売り込み目的でアプローチがあり、今後も継続して売り込みを図ることから申し出となったもの。

■ 正 会 員 名 簿 (令和2年3月31日現在)

(株)エンゼル (エンゼルメンバーズクラブ)

代表取締役社長 安藤 敏幸 〒100-0006 千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 03-3201-6655

(株)鴨川グランドホテル (鴨川リゾートクラブ)

代表取締役社長 鈴木 健史 〒296-0044 鴨川市広場 839-13 04-7094-5581

紀州鉄道(株) (紀鉄クラブ)

代表取締役社長 中川 源行 〒103-0015 中央区日本橋箱崎町 1-7 千歳ビル 03-3230-2261

(株)セラヴィリゾート泉郷 (オアシスクラブ)

代表取締役社長 小西 滋 〒170-0005 豊島区南大塚 2-45-8 ニッセイ大塚駅前ビル 03-5981-2301

(株)ダイヤモンドソサエティ (ダイヤモンドホテルメンバーズ)

代表取締役会長 宗澤 政宏 〒540-0018 大阪市中央区粉川町 2-9 06-6765-1530

東京信用販売(株) (東京レジャーライフクラブ)

代表取締役社長 川名幸太郎 〒414-0002 静岡県伊東市湯川 4-2-15 伊東パウル 0557-36-6181

株式会社日本ハウス・ホテル&リゾート倶楽部 (みやび倶楽部)

代表取締役社長 池辺厚幸 〒102-0072 千代田区飯田橋 4-3-8 日本ハウスHD 飯田橋ビル 03-6265-6181

(株)萬代 (オテル・ド・マロニエクラブ)

代表取締役 枋本 雅尚 〒463-0070 名古屋市守山区新守山 3503 052-792-1100

Hilton Grand Vacations Japan 合同会社

代表社員 Jeffrey Bernier 〒160-6108 新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産タワー 03-6866-4870

(株)マイステイズ・ホテル・マネジメント (エピナールリゾートクラブ)

代表取締役 代田 量一 〒100-0032 港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー 14階 03-6430-6830

(株)マグナ、リゾート (マグナ、リゾートクラブ)

代表取締役社長 條 勇二郎 〒431-1424 浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 053-524-1311

リゾートトラスト(株) (プライベートリゾートエクシブ)

代表取締役フアウンダー 伊藤 與朗 〒460-0005 名古屋市中区東桜 2-18-31 052-933-6000

ウィンダム・デスティネーションズ・ジャパン(株) (サンダンス・リゾートクラブ)

代表取締役 Gary Croker 〒102-0073 千代田区九段北 4-1-9 市ヶ谷 MSビル 03-5212-7400

■ 賛助会員名簿 (令和2年3月31日現在)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)	453-6116	名古屋市中村区平池町4-60-12グロハルゲート16F	052-563-9433
アスレ(株)	501-3203	岐阜県関市神野116	0575-20-2033
(株)ALIVE	424-0844	静岡市清水区西高町12-29	054-355-4001
(株)e会員権	231-0014	横浜市中区常盤町3-21 ファイアンス関内ビル	045-222-6521
(株)ヴィラ北軽井沢	377-1412	群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢1924-172	0279-84-5555
(株)N. F. C	453-6127	名古屋市中村区平池町4-60-12グロハルゲート27F	052-583-6871
鹿島建設(株)	107-8388	東京都港区元赤坂1-3-1	03-6438-2272
(株)観光企画設計社	105-0004	東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル6階	03-6430-9011
(株)きんでん	531-0074	大阪市北区本庄東2-3-41	06-6375-6010
サッポロビール(株)	150-8522	東京都渋谷区恵比寿4-20-1	03-5475-0626
(株)サンゲツ	140-8611	東京都品川区東品川3-20-17	03-3474-1245
サントリーコーポレートビジネス(株)	450-6640	名古屋市中村区名駅1-1-3 JRゲートタワー40F	052-583-6130
住商インテリアインターナショナル(株)	101-0054	東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋SIビル1階	03-5577-1761
(株)ダイヤモンドSR	542-0083	大阪市中央区東心斎橋1-4-7-601	06-6245-1505
(一社)日中経済文化交流協会	135-0007	東京都江東区新大橋1-12-11 安川ビル4F	03-5638-2125
(株)日本経済広告社	101-8323	東京都千代田区神田小川町2-10	03-5282-8000
(株)パンインテリアプロダクト	110-0016	東京都台東区台東4-8-5 T&T御徒町ビル	03-5818-6941
(株)マイリゾート	420-0847	静岡市葵区西千代田町10-4	054-247-7771
(株)マザーブレイン	151-0061	東京都渋谷区初台1-51-1 初台センタービル619	03-6276-0863
(株)マルハチプロ	222-0033	横浜市港北区新横浜3-8-12	045-471-0818
(株)安井建築設計事務所	540-0034	大阪市中央区島町2-4-7	06-6943-1371
(株)ヤマグチ企画	425-0075	焼津市西焼津15-15	054-631-6037
(株)悠久	547-0014	大阪市平野区長吉川辺3-9-18	06-4305-7030
リゾート・ステーション(株)	103-0027	東京都中央区日本橋3-3-12 E-ビル6F	03-3271-5233
リソル不動産(株)	160-0023	東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビルディング12F	03-5321-5600
(株)リゾートライフ	460-0002	名古屋市中区丸の内2-19-25MS桜通ビル1F	052-222-0246
(有)リプロ	332-0001	川口市朝日4-4-4	048-211-5990
(有)ワタベ印刷所	961-0936	白河市大工町18	0248-22-3241